

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	総合実習2	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開設時間	金曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	林久喜	実務経験の有無・職種	有・デザイナー		
学習目的					
現状調査、問題発見・解決目標設定、具体的な提案から成るデザインプロセスを、実践を通して体験していく。そして社会的に機能し得るデザイン及びそのプロセスの提案を目指すと同時に、デザインの遂行に必要な能力を高めることが目的である。					
到達目標					
デザイン目標の設定、デザインの実施、デザイン案の提示を行う。作品制作を通じて、観察力や創造力や表現力の育成を実践を通じて体験しデザインに必要な能力を高めることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、後期の総合的なまとめとして課題制作を行う。発案、リサーチ、制作相談、検証、発表、評価を行い、デザインクオリティの向上を心がける。円滑なコミュニケーションに基づきデザイナーとして集中した制作ができるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、より良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。制作にあたってはデザイナーとして各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分3以上出席しない者は合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	企画アイデア提案	半期に学んだことをもとに取り組みべき課題を検討する			
2回	企画調査	課題に基づき、調査を行う			
3回	企画の立案 作業1	調査結果から課題に必要な企画を立案する			
4回	企画の立案 作業2	調査結果から課題に必要な企画を立案する			
5回	企画書作成	立案した企画を想定したターゲットに向けた計画書としてまとめる			
6回	企画プレゼンテーション	企画書を具体的にわかりやすくプレゼンテーションする			
7回	制作作業1	課題を表現するためのビジュアルを制作			
8回	制作作業2	課題を表現するためのビジュアルを制作			
9回	制作作業3	課題を表現するためのビジュアルを制作			
10回	制作作業4	課題を表現するためのビジュアルを制作			
11回	作業確認	担当教員と確認をして作業工程の確認をする			
12回	制作作業5	課題を表現するためのビジュアルを制作			
13回	制作作業6	課題を表現するためのビジュアルを制作			
14回	制作作業7	課題を表現するためのビジュアルを制作。プレゼンの準備をする			
15回	講評会	自身の作品の最終プレゼンテーションを行う			